

1. 略歴

- 1986年4月 東京大学教養学部文科Ⅲ類 入学
1991年3月 東京大学文学部西洋史学専修課程 卒業
1991年4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程西洋史学専攻 入学
1994年3月 同 修了
1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程西洋史学専攻 進学
1995年10月 アイルランド共和国ダブリン大学留学（～1997年9月）
（1996年9月まではアイルランド政府給費留学生）
1999年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程西洋史学専攻 単位取得退学
1999年4月 東京大学大学院人文社会系研究科西洋史学研究室 助手
2002年3月 博士（文学）学位取得
2002年4月 岐阜大学教育学部社会科教育講座（史学） 助教授
2007年4月 同 准教授
2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授
2018年9月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

アイルランド近代史、近代ブリテン世界史、近代コスモポリタニズム

b 研究課題

19世紀アイルランド農村史、近代ダブリン都市史、近代ブリテン世界史、近代コスモポリタニズム

c 概要と自己評価

教育・研究・学内業務において、基本的責任を果たした。

d 主要業績

(1) 著書

- 共著、勝田俊輔（監修 金澤周作、編者 藤井崇／青谷秀紀／古谷大輔／坂本優一郎／小野沢透）、『論点・西洋史学』、ミネルヴァ書房、2020.4
共著、勝田俊輔（編者 秋田茂／脇村孝平）、『人口と健康の世界史』、ミネルヴァ書房、2020.8
Shunsuke Katsuta, 『Foreword to Louis Cullen's Early Japanese Trade, Administration and Interactions with the West』、Renaissance Books, 2020.12
共著、勝田俊輔（編者 岩井淳／竹澤祐丈）、『ヨーロッパ複合国家論の可能性——歴史学と思想史の対話』、ミネルヴァ書房、2021.5

(2) 論文

“Aggregate meetings” and politics in early nineteenth-century Dublin’, LEAVES, N°12 (Sociability and democratic practices in Britain and Ireland, 1789-1832), July 2021, pp. 87-106

(3) 学会発表

- 国内、勝田俊輔、「スコットランド史とアイルランド史：共通の視座の構築に向けて」、日本カレドニア学会 2020 年度大会、オンライン、2020.10.3
国内、勝田俊輔、「コメント」『デジタル史料とパブリック・ヒストリー——1641 年アイルランド反乱被害者による証言録取書（1641 Depositions）』、2021 年度歴史学研究会総合部会例会、オンライン、2021.6.19
国際、Shunsuke Katsuta, 「Aggregate meeting and popular politics in late eighteenth and early nineteenth-century Dublin」、Irish Historical Society、オンライン、2021.10.12
国内、勝田俊輔、「世界主義の諸様相——コスモポリタニズム・アジア主義・国際主義」、第 119 回史学会大会公開シンポジウム、オンライン、2021.11.13

(4) 予稿・会議録

- 国内会議、勝田俊輔、「スコットランド史とアイルランド史：共通の視座の構築に向けて」
『日本カレドニア学会 Newsletter』、69、2021.10

(5) 会議主催（チェア他）

国内、「都市史学会」、チェア、シンポジウム 疫病と都市、オンライン、2020.12.20

(6) 総説・総合報告

勝田俊輔、「疫病と都市——史学史的イントロ」、『都市史研究』、8、35-48 頁、2021.10

3. 主な社会活動

(1) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

任意団体、史学会、評議員、2014.5～

都市史学会、企画委員、編集委員